

住宅改修が必要な理由書

(P1)

<基本情報>

被保険者番号	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和 年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
被保険者氏名	過去に行った住宅改修額を記入。 (支給額ではないので注意)			要支援 1・2	要介護 経過的	・1・2・3・4・5
住 所	弘前市大字			前住所等 (※1)	弘前市大字 ()	
介護保険給付対象の住宅改修実績	<input type="checkbox"/> あり【累計改修額 替】 <input type="checkbox"/> なし			円、工事種別:手すり設置・段差解消 床材変更・扉取替・便器取 訪問リハ・通所介護 ・短期入所介護・		
在宅サービスの利用状況	<input type="checkbox"/> あり【訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護 福祉用具貸与導入】 <input type="checkbox"/> なし			訪問リハ・通所介護 ・短期入所介護・		
現在受けているサービスを○で囲む。						
被保険者氏名	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和 年 月 日	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
過去に行った改修住居が今回と異なる(転居リセット確認)場合、以前の住所を記載してください。あわせて、その当時の介護度(3段階リセット確認)も記載してください。						
現地確認日欄を削除し、作成日のみとしました。 改修に係る見積書は原則、理由書作成日以降としてください。						
作成者等	作成日	平成 年 月 日				
	所属事業所					
	資格 (作成者が介護支援専門員でない時)					
	氏名					
	連絡先					
	介護支援専門員 (※2)					

(※1)欄は、今回の改修が過去に改修して下さい。また、前回改修時に当時の介護度も記載して下さい。(※2)欄には現地確認書の内容押印や印字ではなく、自署してください。門員欄に支援専門員が所属する事業所名を記載してください。

<総合的状況>

利用者の身体状況	その他の事項 <ul style="list-style-type: none"> ①主に玄関に設置するスロープや踏み台が固定されていないケースが見受けられるので、注意してください。 ②改修箇所は全て撮影してください。(特に床材変更時の床部分やレール交換時のレール部分) ③住宅改修と同時に福祉用具も充分検討してください。 ④利用者や家族の意向を尊重するだけでなく、かつ、現在の身体機能レベルのみにこだわらず、将来の可能性を含めて種々のケースについて幅広い情報を提供し、よりよい改修が実施出来るように努めてください。 ⑤改修状況や利用状況を見に行く際は、利用者との日取り調整等依頼しますので、よろしくお願ひします。 ⑥介護認定の申請中は事前審査は受付ますが、改修費支給申請は出来ませんので、ご注意ください。 		福祉用具の現状の利用状況と 住宅改修後の想定	
介護状況			改修前	改修後
住宅改修により、 利用者等は日常生活 をどう変えたいか			<ul style="list-style-type: none"> ●車いす ●特殊寝台 ●床ずれ防止用具 ●体位変換器 ●手すり 	
			改修前後における福祉用具の利用状況や 利用予定をチェックしてください。	
			<ul style="list-style-type: none"> ●腰掛便座 ●特殊尿器 ●入浴補助用具 ●簡易浴槽 ●その他 	

住宅改修が必要な理由書

<P1の「総合的状況」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。

施工箇所が複数ある場合は、番号等を付けて平面図や写真と対照しやすくしてください。

活動	① 改善をしようとしている生活動作 ➡ ② ①の具体的な困難な状況(…なので…困っている)を記入してください	③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、方針(…することで…が改善できる)を記入してください	目(改修箇所)
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 <input type="checkbox"/> トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便器からの立ち座り(移乗を含む) <input type="checkbox"/> 衣服の着脱 <input type="checkbox"/> 排泄時の姿勢保持 <input type="checkbox"/> 後始末 <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようする <input type="checkbox"/> 転落等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他
入浴	<input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 浴室(窓を含む) <input type="checkbox"/> 洗面台(洗面所を含む) <input type="checkbox"/> 洗濯(洗濯機を含む) <input type="checkbox"/> その他()	現状の改善を必要とする動作についてチェックをする。今回改修の対象でない項目にはチェックする必要はない。 生活動作で困っている事、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記述する。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようする <input type="checkbox"/> 転落等の防止、安全の確保
外出	<input type="checkbox"/> 出入口までの室内移動 <input type="checkbox"/> 上がりかまちの昇降 <input type="checkbox"/> 車いす等、装具の着脱 <input type="checkbox"/> 履物の着脱 <input type="checkbox"/> 出入口の出入(扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 出入口から敷地外までの屋外移動 <input type="checkbox"/> その他()	改修案の検討の際は、全ての行為についてチェックが必要だが、理由書では改善しようとする行為に限定したコメントで良い。 生活のどの場面、どの動作が利用者や介助者にとって大変なのか、動作の流れに沿って一つずつ見極める事。 寝たきりならば「座位が保てるか」、歩行が出来れば「段差を超えるか」等についても記述する。 ①の評価と②のコメントの両方を併せ、利用者の状況が伝わるようにする。 移動について各行為(排泄・入浴・外出)に共通する内容は、例えば「排泄」の欄のみに記述し、各行為の欄に重複して記述する必要はない。	<input type="checkbox"/> ①②を記入し、現状の問題点を踏まえた上で、改修目的の項目をチェックする。各行為の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記述する。 改善方法は「手すり設置」や「段差解消」という表現でなくても良い。「捕まる所」「つまずかない工夫」「立ち上がりの支え」等の表現でも良い。
その他の活動			<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようする <input type="checkbox"/> 転落等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 <input type="checkbox"/> 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他

取り付け場所を簡潔に記載してください。手すり設置に係る欄ですので、「～へ手すりを取り付ける」等の表記は不要です。

様々な角度から検討し、決定された改修内容の項目をチェックし、詳細な内容を記述する。改修箇所は、場所だけでなく「手すり」なら、「便器横壁面」等その取り付け箇所まで記述する。

具体的には手すり取り付け時の下地補強、浴室の床段差解消時の給排水設備工事、扉の取替時の壁や柱の改修工事、便器取替時の給排水設備工事や床材の変更、等が考えられます。

レール交換やドアノブ交換を記載しているケースが多く見られます。レール交換は「段差の解消」欄に、ドアノブ交換は「引き戸等への扉の取替え」欄に記載してください。